

## 平成26年度柏市学力・学習状況調査報告結果について

### 1. 調査内容

- ・平成26年4月16日（水）実施
- ・小学校2，3，4，5，6年
- ・国語、算数及び生活・学習意識調査
- ・教科に関しては昨年度の学習内容であり、基礎的な内容及び活用的な内容を含む問題で構成されています。生活・学習意識調査は、学習意欲や学習方法、生活等のアンケート調査です。

### 2. 各学年の結果

#### （2年）

#### ◎国語の調査結果

##### （1）結果の概要について

- ・国語全体の正答率は、基礎も応用も全国平均及び柏市平均を下回っています。
- ・国語に対する関心・意欲が低く、国語全体の力が不足しています。
- ・大事なことを落とさないように聞き取ることはできていますが、聞いた内容から質問をすることは苦手です。
- ・「漢字を読む」ことは比較的正しく答えることができていますが、「漢字を書く」問題の正答率は低く課題があります。
- ・問題の例から言葉のルールを読み取る問題では、言葉のルールは理解していますが、そのルールからさらに発展させて他の言葉を考えることは難しかったようです。
- ・「経験や想像したことの中から書くことを決め、文を書く」問題では、誤答や無回答者が多くいました。

##### （2）指導改善のポイント

- ・基礎基本を確実に身に付けるため、音読・漢字練習・言葉の使い方の練習を繰り返して行います。
- ・漢字の学習は、機械的に練習するだけでなく、習った漢字を日記などで実際に使って書けるようさせていきます。
- ・読書量を増やし、多くの言葉に触れさせていきます。
- ・書くことについては、身近なことを表現させる機会を多くとっていきます。（日記や作文）

#### ◎算数の調査結果

##### （1）結果の概要について

- ・教科全体の正答率は全国平均及び柏市平均を下回っています。
- ・算数に対する関心・意欲が低く、算数全体の力が不足しています。
- ・繰り上がりや繰り下がりのない足し算・引き算はよく理解しています。
- ・問題の内容は、「ひきざん」「かたち」に課題があるといえそうです。
- ・観点別では「数学的な考え方」数量や図形についての知識・理解において、課題があるといえそうです。
- ・繰り上がりや繰り下がりのある足し算・引き算では、計算ミスが見られました。
- ・学習内容の理解はしていますが、知識としての定着が十分とはいえません。（時計・かたち）

## (2) 指導改善のポイント

- ・ドリルなどを活用して基礎的な内容の定着を図ります。
- ・具体物を用いた授業を展開していきます。
- ・問題を読んで、立式できるように、絵や図で表すことに力を入れていきます。
- ・学んだことを生活でも生かせるように指導していきます。(時計・かたち)

## ◎生活・学習意識の調査結果

### (1) 調査結果の概要について

- ・学習への意識については、算数より国語への関心が高いです。
- ・読書好きの子が多く見られます。
- ・授業や生活の中で、自分の思ったことや考えたことを進んで話すことが少ないです。
- ・就寝時間が遅く、朝に自分で起きていない子が多いです。
- ・学校や家で決めたやくそくやきまりを守れていない子が多いです。
- ・朝食を毎日食べている子や、家の手伝いをしている子が多いです。

### (2) 学習状況をより良くするポイントについて

- ・生活リズムを整えることが大切です。(早寝・早起き・朝ごはん・入浴・歯磨き)
- ・学習用具の確認を毎日の習慣にできるようにする必要があります。
- ・身の回りのもの(学習用具・服装)の整頓が自分で行えるようにすることが大切です。
- ・活躍できる場を設け、できたときには誉めたり励ましたりしながら自信をつけさせていきたいです。
- ・ご家庭でも、食事等の生活の中で、ぜひお子さんと話をする時間を作っていただけたらと思います。

## (3 年)

## ◎国語の調査結果

### (1) 結果の概要について

- ・国語全体の正答率は、全国平均を下回っています。  
観点別にみると、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」のすべてにおいて、十分であるとはいえない状況です。
- ・昨年2年時と現3年時で比べた場合、「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」は現3年時の方が上回っていますが、「話す・聞く能力」「読む能力」は下回っています。
- ・2年時の漢字を読んだり、カタカナで書くべき言葉を理解したり、短文(カードに書かれた文)を使って文章を組み立てたりすることはよいです。
- ・漢字を書いたり、事柄の順序などを考えながら内容を読み取ったりすること、物語文で登場人物の気持ちを読み取ったりすることが十分ではありません。また、話の内容を聞きながら話題に沿った内容で質問をすることも不十分です。

### (2) 指導改善のポイント

- ・漢字を正しく書くことができるように、ドリルを活用しながら繰り返し練習していきます。
- ・文章の内容を的確に押さえさせるために、文章がどのように構成(段落や指示語、場面の転換など)されているのかを考えさせるような指導をしていきます。
- ・話の柱になる箇所を考えてとらえていけるような指導をしていきます。

## ◎算数の調査結果

### (1) 結果の概要について

- ・算数全体の正答率は、全国平均を下回っています。
- ・昨年2年時と比べると、伸びていますが、観点別にみると、「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」のすべてにおいて、十分であるとはいえない状況です。
- ・昨年2年時と現3年時で比べた場合、「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」のすべてにおいて現3年時の方が上回っています。
- ・2桁の繰り上がりなしのたし算や数直線上に示された数を読み取ったり、身近にあるものの長さに相当する単位をつけたりすることはよいです。
- ・繰り下がりのあるひき算や分数で大きさを表したり、2つの時刻の間の時間を求めたり、文章問題を読んで解決していくことが十分ではありません。特に、文章を読んで立式することとリットルますを使ってかさを求めることが不十分です。

### (2) 指導改善のポイント

- ・基礎的な内容は、ドリルなどを活用して学習の定着を図ります。
- ・すでに学習した内容（既習内容）を使って新しい問題解決ができるような授業の工夫をします。併せて、既習内容の復習も行っていきます。
- ・問題解決をしていくためのパターンを明確に示していきます。

## ◎生活・学習意識の調査結果

### (1) 調査結果の概要について

- ・学習への意識については、国語よりも算数への関心意欲度が高いです。
- ・学習中に進んで発表したり、自分で調べようとしたりすることが少ないです。また問題が解けたとき、別の解き方を考えようとすることも少なく、すぐに終わらせようとしています。
- ・自分にはよいところがあるという自己を肯定する気持ちが少ないようです。
- ・家の人との約束を守ること、授業に集中すること、忘れ物をしないようにすることへの意識も低いです。

### (2) 学習状況をより良くするポイントについて

- ・多様な考えが出るような学習の展開に努めるとともに、調べたり、話し合ったりする場を取り入れ、集団で考えていくことに慣れさせます。
- ・自分にはよいところがあるととらえている子が少ないです。その子のよさを認めることによって、やる気を喚起させます。また活躍できる場を設け、活動に対して誉めていきたいです。家庭でも子どもと話す機会を増やし、子どもの気持ちを受け入れて自信に結びつけてほしいです。
- ・約束を守ること、授業に集中すること、忘れ物をしないことなどは、小学校生活を送るうえで重要なことです。随時指導を繰り返しますが、家庭でも指導をしてほしいです。

(4 年)

## ◎国語の調査結果

### (1) 結果の概要について

- ・国語全体の正答率は、全国平均を下回っています。ただ、基礎は良好な状況です。
- ・問題の内容は、「作文」と「話し合いの内容を聞き取る」に課題があるといえそう

です。

- ・話し合いの内容を聞き取り，互いの考えの相違点を考えながら，話し合う内容を書く問題では，誤答や無回答者が多くいました。
- ・「書くこと」の中では，「自分の意見とその理由を区別して書く」ことができていました。しかし「指定された長さで文章を書く」や「段落に分けて文章を書く」が苦手です。
- ・「読む能力」が昨年よりもついてきました。特に，「説明文の内容を読み取る」や「物語の登場人物の様子」を読み取ることができるようになってきています。

## (2) 指導改善のポイント

- ・記述式の無回答者を減らすために，読書活動を充実させて語彙をふやしたり，国語辞典や漢字辞典を使いながら言葉の使い方を指導していきます。
- ・目的をはっきりさせて書くために，伝達するために書くのか，報告するために書くのか，説明するために書くのか，感想や意見を述べるために書くのか等，対象や目的を意識させた上で，文章を書かせていきます。

## ◎算数の調査結果

### (1) 結果の概要について

- ・教科全体の正答率は全国平均を下回っています。しかし，昨年度（3年時）と比べると伸びています。
- ・問題の内容の中で「かけ算」に課題があるといえそうです。「2けた×2けた」や「3けた×2けた」のかけ算やあまりのあるわり算で計算ミスが見られ，定着が不十分です。
- ・文章問題を解くために立式した「 $2\text{けた} \div 1\text{けた} = 1\text{けた} (\text{余りあり})$ 」の式から，余りの処理をして正しい答えを求める問題や，0を含む乗法を適用して表を完成したり，2つの表で異なる数値に着目するなど工夫して，条件を満たす場合を考えたりする問題に誤答や無回答が多くみられました。
- ・繰り上がりや繰り下がりのある足し算・引き算がよくできていました。

### (2) 指導改善のポイント

- ・自力解決や比較検討の過程で，自分の考えを持たせ，友達とかかわり，言語活動を充実させていくことで学習効果を高めていきます。
- ・学習することが楽しい，様々な考えを知ることが楽しいと思える学び合いのある授業を目指していきます。
- ・文章問題で立式できない場合は，絵や図を使って表現できるよう授業の工夫をします。

## ◎生活・学習意識の調査結果

### (1) 調査結果の概要について

- ・問題が解けたときに別の解き方を考えようとしたり，問題がとけなかったときになぜ解けなかったかをふり返って考える子が少ないです。
- ・自分で計画を立てて勉強している子が少なく，宿題以外の勉強や自主ノートの活用をしている子が少ないようです。
- ・家庭学習の時間が30分未満の子が半数を占めており，4年生の家庭学習時間（40分）を確保できていません。
- ・学校に出かける前に忘れ物がないか確かめる子が少ないため，忘れ物が多くなっています。
- ・朝起きる時間が遅く，寝る時間が遅い子が多くいます。

・自分の住んでいる地域が好きな子や将来の夢や目標をもっている子が多くみられます。

## (2) 学習状況をより良くするポイントについて

- ・寝る時間が遅く、起きる時間も遅いために、忘れ物がないかを確認する時間がないと考えられます。生活のリズムを整えて、忘れ物がないかをたしかめる余裕があるとよいと思います。
- ・家庭での学習時間は40分を目安としています。漢字や計算の宿題が終わっても、自主ノートを活用して40分以上になるようにしていきます。家庭学習の仕方や約束について、もう一度ご家庭で話し合い確認してください。
- ・大津ヶ丘のまちが好きな子が多いので、地域の行事に参加し、自分の地域の良さをさらに感じられるようにしていきたいです。

## (5 年)

### ◎ 国語の調査結果

#### (1) 結果の概要について

- ・国語全体の正答率は、全国平均を下回っております。
- ・観点別にみると、特に「話す・聞く能力」「書く能力」に課題があるといえます。具体的には、話し手の意図を考えたり、話し方の工夫を考えながら聞いたりすること、指定された長さや段落構成で文を書いたりすること、自分の意見や理由を区別して書いたりすることについて、不十分な状況です。
- ・漢字を書くことは比較的よくできています。
- ・文の構成（主語、述語、修飾語）や指示語の使い方の理解は十分ではありません。

#### (2) 指導改善のポイント

- ・自分の考えなどを聞き手にわかりやすく伝えたり、話し手の意図を考えながら聞いたりすることができるよう、スピーチや話し合いなどの言語活動を取り入れていきます。
- ・自分の考えなどを文章に書き表す機会を設定していきます。その中で、段落の構成、文の構成（主語、述語、修飾語など）についても少しずつ意識できるように指導していきます。
- ・文章の内容を的確に読み取ることができるように、登場人物の気持ちが表れている言葉や指示語など、ポイントとなる言葉や文に注目するような指導をしていきます。
- ・読書を奨励し、いろいろな種類の本を読むことで、文章を読み取る力をつけられるようにしていきます。

### ◎ 算数の調査結果

#### (1) 結果の概要について

- ・算数全体の正答率は全国平均を下回っており、特に活用問題の正答率が低くなっています。しかし、前年度と比べると基礎・活用ともに正答率を高めています。
- ・問題別にみると「大きな数」「角の大きさ」の理解に課題があります。

#### (2) 指導改善のポイント

- ・問題解決型の学習を通して、子どもたちの考える力の伸長を図っていきます。また、話し合い活動で、考えを共有したり、表現したりする機会を増やしていきます。
- ・課題の設定や導入を工夫して、子どもたちが自ら進んで学習に取り組む意欲を持たせていきます。
- ・また、ドリル学習や家庭学習を通して、基礎基本の定着を図っていきます。

### ◎ 生活・学習意識の調査結果

### (1) 調査結果の概要について

- ・学習への意識については、国語よりも算数への関心意欲が高いです。市町村平均と比較すると、国語、算数ともにやや低い傾向にあります。
- ・家庭学習の時間は、「30分以上1時間以内」との回答が最も多かったです。
- ・ある問題が解けたときに、別の解き方を考えようとする児童は多いのですが、問題が解けなかった時に、その原因を考えようとする児童は低い傾向にあります。
- ・自分の考えを進んで話すことができる児童が多い傾向にありますが、算数の授業で色々な考え方を発表しあうことに苦手としているようです。
- ・コンピュータなどの情報機器や学校図書館を活用した授業に対する関心意欲は、やや低い傾向にあります。
- ・授業に集中すること、忘れ物をしないようにきちんと確かめること、自分で計画を立てて勉強することについては意識が低いです。
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」といった基本的な生活習慣については、しっかりと身につけている児童が多いです。
- ・「自分には良い所がある」と感じている児童、「難しいことに対しても挑戦している」児童は少ない傾向にあります。

### (2) 学習状況をより良くするポイントについて

- ・問題が解けなかった時にそこで終わりにするのではなく、粘り強く原因を探り、次につながられるように意識付けをしていきます。「失敗から学ぶ」ということの重要性を理解させていきたいと思えます。
- ・情報機器や学校図書館を効果的に活用し、児童の学習意欲の喚起や、学習内容をより定着させることにつなげていきます。
- ・忘れ物については繰り返し指導し、減らしていくことで、学習への集中力の向上につなげたいと思えます。
- ・小さな成功体験を積み重ねることやお互いの良さを認め合う機会をつくることで、自分に自信を持てるようにしていきます。そして、少し難しいことにも挑戦しようとする気持ちを育てることで、さまざまな面での成長につなげたいと思えます。

## (6 年)

### ◎国語の調査結果

#### (1) 結果の概要について

- ・国語全体の正答率は、全国平均を下回っております。
- ・観点別にみると、特に「書く能力」「読む能力」に課題があるといえます。具体的には、指定された段落構成で文を書くこと、物語文の登場人物の心情や様子を読み取ること、説明文の内容を的確に押さえながら読み取ること、活動報告と話し合いを読み取って考えたり適切に書き直したりすることについて、不十分な状況です。
- ・漢字を書くことは比較的よくできています。
- ・文の構成（主語、述語、修飾語）や敬語の使い方の理解は十分ではありません。

#### (2) 指導改善のポイント

- ・自分の考えなどを文章に書き表す機会を設定していきます。その中で、段落の構成、文の構成（主語、述語、修飾語など）についても少しずつ意識できるように指導していきます。
- ・文章の内容を的確に読み取ることができるように、登場人物の気持ちが表れている言葉や指示語など、ポイントとなる言葉や文に注目するような指導をしていきます。
- ・読書を奨励し、いろいろな種類の本を読むことで、文章を読み取る力をつけられるよ

うにしていけます。

## ◎算数の調査結果

### (1) 結果の概要について

- ・算数全体の正答率は、全国平均を下回っております。
- ・基礎的な内容の定着は不十分ですが、活用的な内容は比較的よいです。
- ・観点別にみると、特に「数量や図形についての技能」に課題があるといえます。具体的には、「小数のわり算」、「図形の面積と体積」「倍数と約数」などで、定着が十分ではない状況です。
- ・「小数のかけ算」「分数×整数」「分数÷整数」「図形の角、円周」は、比較的よいです。

### (2) 指導改善のポイント

- ・基礎的な内容は、家庭学習やがんばりタイム、火曜日6時間目の算数の時間などを活用し、ドリルやプリントで繰り返し練習することで、定着を図ります。
- ・既に学習した内容を使って新しい問題を解決するような授業を構成し、復習をしながら新しい学習も進めていくよう工夫して指導していきます。
- ・上記2点によって「できる」という自信を少しずつ持てるようにし、できるようになったことと新しい学習とをつなげながら理解できるような授業を展開していきます。

## ◎生活・学習意識の調査結果

### (1) 調査結果の概要について

- ・学習への意識については、算数よりも国語への関心意欲が高いです。市町村平均と比較すると、国語、算数ともにやや低い傾向にあります。
- ・家庭学習の時間は、「30分以上1時間以内」との回答が最も多かったです。
- ・ある問題が解けたときに、別の解き方を考えようとする児童は多いです。しかし、問題が解けなかった時にその原因を考えようとする児童が少ない傾向にあります。
- ・コンピュータなどの情報機器や学校図書館を活用した授業に対する関心意欲は、やや低い傾向にあります。
- ・授業に集中すること、忘れ物をしないようにきちんと確かめること、自分で計画を立てて勉強することについては意識が低いです。
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」といった基本的な生活習慣については、しっかりと身につけている児童は多いです。
- ・「自分には良い所がある」と感じている児童、「難しいことに対しても挑戦している」児童は、少ない傾向にあります。

### (2) 学習状況をより良くするポイントについて

- ・問題が解けなかった時にそこで終わりにするのではなく、粘り強く原因を探り、次につながられるように意識付けをしていきます。「失敗から学ぶ」ということの重要性を理解させていきたいと思えます。
- ・情報機器や学校図書館を効果的に活用し、児童の学習意欲の喚起や、学習内容をより定着させることにつなげていきます。
- ・忘れ物については繰り返し指導し、減らしていくことで、学習への集中力の向上につなげたいと思えます。
- ・小さな成功体験を積み重ねることや、お互いの良さを認め合う機会をつくることで、自分に自信を持てるようにしていきます。そして、少し難しいことにも挑戦しようとする気持ちを育てることで、さまざまな面での成長につなげたいと思えます。